

第4回リフレクション会議について(令和6年7月3日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

協議内容

- 子どもに委ねる学習の推進について～先進校視察の報告をもとに～

内容

第4回の会合では、先進校を訪問した教員からの報告をもとに協議を深めました。

「自由進度学習」の先進校である東浦町立緒川小学校と名古屋市立山吹小学校を視察した教員からは、自分の学びを選び、決め、進める力が子どもたちの中に育っているとの報告を受けました。両校とも、学習計画表をもとに、学習進度や学習方法を子ども自らが考えるところに特徴があります。また、毎時間のふりかえりを積み重ねることで、進捗状況を子ども自らが把握し、自己調整をしながら学ぶ姿が見られたとのことでした。

「PBL」に特色がある名古屋市立矢田小学校では、実社会、実生活に根差した本物の学びを中心としながら、子どもたちが問いを見つけ、その解決を目指す学習活動が設定されていることが報告されました。参観した授業では、どの子も意欲的に学習に参加し、活気にあふれた授業が展開されていたとのことでした。

いずれの学校にも共通する点として、最上位目標である目指す子ども像が全教職員の中で共有されていること、その実現に向けて教師同士が日々対話し、建設的な議論を進めているところに特色がありました。また、学びの主役を「子ども」とし、子どもが主体的に学ぶために教師は「支える」役に徹する点も共通しています。

先進校では、教師が教室の前に立ち、決まった内容を決まった方法で教えるという授業から、子ども一人ひとりが学びのコントローラーを自分の手に持ち、自分の力で学ぶ授業に転換が図られようとしています。視察に参加した ONE STEPper も大いに刺激を受け、学びを得た視察となりました。